

82.1.15 朝

単価30%水増し

公共ニセ台帳で操作

農村労組連調査

2兆円ピンばね

公共事業発注の際の積算基準となる労務単価（日額）は、毎年、建設業界からの報告をもとに決められるが、業界は実際支払っている賃金より30%も高い単価を設定させ、年間二兆円にものぼる差額分をピンはねしている——業者農民の臨時労働者で組織している農村労働組合全国連合会（藤ノ木利一委員長）は十四日、衆院第一議員会館で記者会見し、架空のニセ賃金台帳作りの手口などを暴露するとともに、今後、建設省などに実情を訴え、単価設定の方法を改める運動を進めていく方針を明らかにした。

五十五年度の場合、国、公団、地方公共団体による公共事業費総額は約二十兆一千億円に達しているが、同組合の推定では、うち三つの約六兆五千億円を労務費が占めているという。この労務費は、四十六年、農林水産、運輸、建設の三省で決めた、いわゆる「三省協定」による「公共事業労務調査」を手掛かりに最終的にはじき出されている。

この労務調査は、毎年六月とて二セ賃金台帳を作り、不正に各地建設局がサンブルとして指定期間内に、賃金台帳を提出させ、臨時作業員に実際に支払った賃金を調べ、賃金上昇や地方間のバランスを考慮しながら、都道府県別、職種別の労務単価（日額）を決めてい

る。同組合の指摘では、計算はこの仕組みを悪用し、調査に備える。二セ台帳の二つを作つて、実際には日額五千五百円で十四日しか働いていない臨時労働者が、「二セ台帳」のうえでは九千六百円で十九日働いていたことを

なるほど、悪質な裏ざんが行われることを明らかにした。こうした操作の結果、例えば、福島県では、五十五年十月調査結果に基づいて普通作業員の労務単価の日額は七千五百五十二円と定められているものの、職安の募集賃金や県の雇用保険の支払額から同組合が推定したところでは、男女平均で四千四百三十三円にしかならなかつた。都道府県や職種別で多少の差があるが、その水増し分は、二割から多いところで四割近くにまで達しているという。

- 44 -

この労務単価は、かつては実勢賃金よりも低く設定されていたが、四十五、六年ごろに逆転してからは労務単価と実勢賃金の開きは年々大きくなるばかりで、同組合は、業界が談合してほぼ予定価格で入札・受注している現状から、業者のふところに入る水増し労務費の差額分は年々大きくなっているはず、と推定している。

また、このほか、三十九年に足した建設業退職金共済制度により、公共事業の指名を受けた業者はこの組合に加入が義務付けられ、業者が負担する出資（二千五百円で十四日しか働くこと）、業者が負担する出資（二千五百六十円で十九日働くこと）になっている。

「賃金帳」（右）では日額

三千五百円で十四日しか働かないのに、建設局に

手づけ料金から

事費の中に積算されているにもかかわらず、ほとんどの労働者は、この制度があることも知らずされず「退職金手帳」も渡されないことがなく、業者がこの分を引いて、業者は、ます間違いない」というのが、同組合の指摘だ。

一一の記事を読んだ限りでは福島には人夫出しはいなりようだ。関西の常識では、ニセ台帳の金額は人夫出しの出し値で、実台帳の額が我々のもうう金だ。だからニセ台帳で労務単価を算定するのが正しい。もし実台帳で計算して人夫出しのが一枚かあと、我々の手取りは三千円以下になるおそれがある。単価設定の方法を改めた運転よりも、ピンハネ分を我々の手にする運動こそが必要だ。

読者の声

み奈さんへ

「勞務者渡世」32・33・34号、

名につたどつました。ありがと

う!! 今、被告人質問の公判を

近くにひかえて二つので、(14、

(15)それが終わってから読むつ

と思ひます。

33号がちょうど前に向井泰一

んから送つてもうつて読んだの

です。とてもヨカッタ。數えら

れると、うが、う、うあります

た。

夏祭りなどもあることでした。

う。がんばってやる。

ボツがまがり立つたも革命を

めやせれるようになつたのは、

金での生活をしなしてでした。

京都の宋斗会さんか、昨日、

面会にきてくわまして、幸さん

と園子さんからだといつて、赤

平の谷間の生と死 一九七三

一九七八 (小杉邦夫、釜ヶ崎

牢裏集) を入れてくれました。

見て、なげてしまつた。また、

自分の「斗争」が金の彼らと

どうつながつて、きつうのか

……と、なげなくなりました。

大森 勝久

また、なつかしく(そのすこ
く)見ました。中には、アレミ
ーの鬼を抱いたものです。

それでは、一れで、ガンバロ
う!!

から、オレもがんばらねば、と

いう鬼を抱いたものです。

それでは、一れで、ガンバロ
う!!

追伸・れぬでは切手まで管理さ
れているのアスよ。

・勝久であり勝久じやないデオ

カ。今年の九月七日で三十に左
右です。

近伸・れぬでは切手まで管理さ
れているのアスよ。

・勝久であり勝久じやないデオ

カ。今年の九月七日で三十に左
右です。

鎌田 慧

草々

(鎌田春山由タク全焼、六名重難

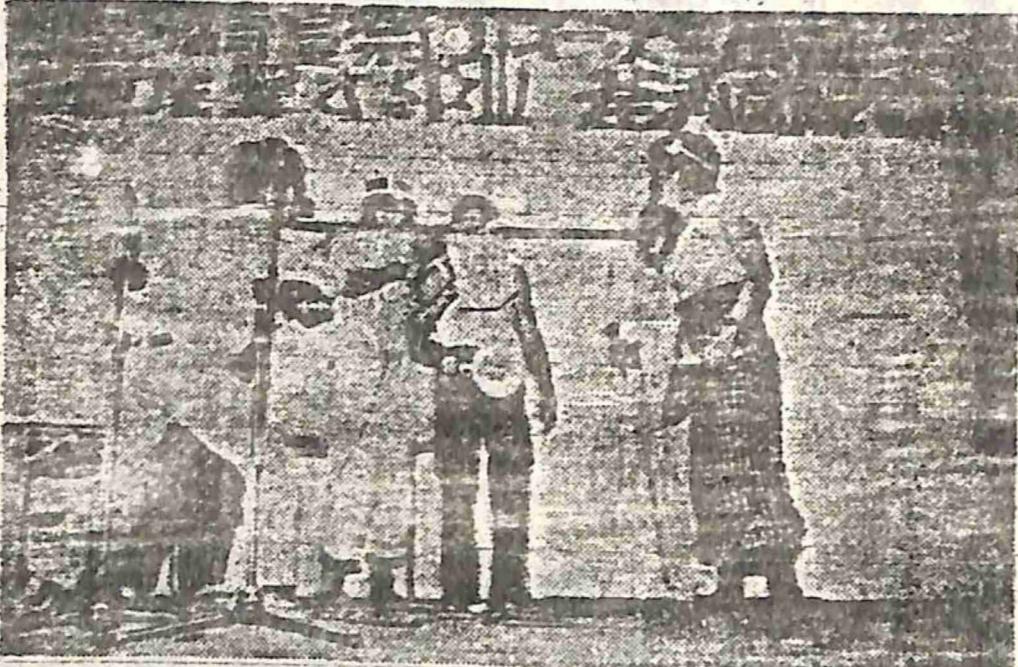
ハニ年二月一日 ドヤ・福寿園
労働者ニ名負傷。

ありがとうございました。

渡世にハゲキ

高木 譲

解放への願い



「アラウセカ」と抗議の掲示 (赤旗) 年賀 (3)

眞理に反対するがたうのがルートが、今回初登場です。小説、小説、小説などとある。開幕はトコトンなしがとある。開幕はトコトンいちやんづけたる軽いかわいな文の真意に、身鳥のオッチャンが、も起業され、ヤジがいつばいあんで、これねだいきつけた。

しめし、手の出せるのだ。日中の仲間とよすく、

一日六千五百円とか書いた紙をもつて手記録と手帳が準備する。「どれほんマやうなみ、あんたまたにママしたからね」、「ワシも座の大間や、そうおひたびタマせへん」「ヨツシナ借用した」といわれました。ハーレーショーをもじりて、身鳥者に、ホントにキスあるオッサンが「何ノ十日連続、十日、十日のせ」といふ年や」「セ二くれノゼニ」、身鳥者はダダタキに張り、火事でかけられ、煙草や身鳥に「何とかしきれ」と相談に行くが、身鳥では「クライサイあつちへ行け」。

身鳥は身鳥に大々をした。
ケイサツの身鳥、身鳥の身鳥

夜中に

第10回 蓋ヶ崎夏祭り

【大夏】三色公園の木ん中に立られた今シロ萬でおわれたヤグラに、大會に活力のある字で「蓋ヶ崎夏祭り、第十回夏祭り」と書かれている。そのヤグラのまわりに、まつ葉に日焼けした学生者と子供たちが、夕焼けにまけないぐらに生き生きと輝いた顔をして、まつ白な音を見せて集まっている。

八月十三日から十五日にかけて行われた今年の夏祭りは、三十六年の蓋ヶ崎夏祭りから二七年目をむかえる。十四日午上にわたる遊行の歴史をつづつた本丸がかかる。光州城のバ本丸も一語に述べられてある。看板に書かれた

「身鳥は身鳥に大々をした。
ケイサツの身鳥、身鳥の身鳥」の文字

小劇や相撲に喊戸 反原発・バネルも展示

況で、身鳥では十人に六人がアマロの筆など的情報を詮おどりなどが行われた。最後日は十五日には、はじめに身鳥の音をせめぬ者とつて、この夏祭りは、ともに同じ次元に

達成された。

今年は例年以上に厳しい通用状況で、身鳥では十人に六人がアマロの筆など的情報を詮おどりなどが行われた。

最後日は十五日には、はじめに身鳥の音をせめぬ者とつて、この夏祭りは、ともに同じ次元に達成された。

十二日から十四日かけては前夜祭やスイカ割り、沖縄のダンスなどが行われた。

最後日は十五日には、はじめに身鳥の音をせめぬ者とつて、この夏祭りは、ともに同じ次元に達成された。

十二日から十四日かけては前夜祭やスイカ割り、沖縄のダンスなどが行われた。

最後日は十五日には、はじめに身鳥の音をせめぬ者とつて、この夏祭りは、ともに同じ次元に達成された。

十二日から十四日かけては前夜祭やスイカ割り、沖縄のダンスなどが行われた。

最後日は十五日には、はじめに身鳥の音をせめぬ者とつて、この夏祭りは、ともに同じ次元に達成された。